



### 一般会計予算

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

収入の部 (単位:円)	
費目	金額
正準会費収入	59,325,000
学生会費収入	475,000
賛助会費収入	50,890,000
図書収入	9,550,000
広告料収入	18,015,000
事業料収入	8,880,000
抄録速報収入	4,400,000
他勘定振替収入	16,600,000
出版会計寄付金収入	4,502,000
雑収入	4,720,566
前期繰越剰余金繰入	10,142,434
合計	187,500,000

支出の部	
費目	金額
事業費	45,600,000
学術論文刊行費	3,640,000
刊行物出版費	6,120,000
講演会・講習会費	3,340,000
部門委員会費	2,670,000
国際委員会費	500,000
技術会賞費	500,000
總會・大会費	5,200,000
抄録速報費	4,400,000
規格作成費補助	4,780,000
FISITA会議費補助	1,750,000
支部費	4,171,000
学生自動車研究会	400,000
資料費	2,600,000
人件費	51,880,000
福利厚生費	3,200,000
通勤交通費	2,500,000
管理費	500,000
連絡旅費交通費	2,300,000
印刷事務用品費	2,300,000
会議費	850,000
通信費	2,040,000
交際費	500,000
貸借	6,939,000
事務所管理費	2,900,000
光熱・修繕費	600,000
什器備品費	300,000
減価償却費	400,000
会費徴収手数料	2,400,000
雑費	1,020,000
予備	6,000,000
引当金	5,500,000
退職引当金繰入	5,500,000
海外旅費引当金繰入	1,000,000
国際会議引当金繰入	4,000,000
特別積立引当金繰入	3,000,000
30周年記念事業積立金繰入	4,000,000
合計	187,500,000

### 出版会計予算損益計算書

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

(単位:円)

費目	金額
売上収入	79,810,000
書籍売上高	
売上原価	36,380,000
製造原価	
売上利益	43,430,000
販売費及一般管理費	16,390,000
俵給	1,520,000
福利厚生費	830,000
通勤交通費	1,500,000
退職引当金繰入	780,000
顧問料	2,313,000
貸借	1,330,000
事務所管理費	310,000
光熱・修繕費	300,000
連絡旅費交通費	1,500,000
印刷・事務用品費	300,000
会議費	2,850,000
通信梱包発送費	650,000
広告宣伝費	130,000
減価償却費	720,000
雑費	
営業利益	12,007,000
営業外収益	
広告料収入	1,500,000
雑収入	1,500,000
当期総利益	15,007,000
営業外費用	
寄付金支出	4,502,000
経常利益	10,505,000
法人税等引当金	2,416,150
当期利益	8,088,850

### 特別会計予算

規格会計自動車規格

(昭和51年4月1日～昭和52年9月30日)

収入の部 (単位:円)	
費目	金額
業界分担金	21,197,000
自動車技術会負担金	3,490,000
補助金	4,500,000
合計	29,187,000

支出の部	
費目	金額
会議費	3,280,000
印刷費	10,931,000
共通事務費	10,215,000
その他の経費	4,761,000
合計	29,187,000

### 規格会計国際規格

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

収入の部 (単位:円)

費目	金額
業界分担金	12,385,000
自動車技術会負担金	1,290,000
合計	13,675,000

支出の部	
費目	金額
印刷費	700,000
海外出張旅費	2,500,000
共通事務費	6,385,000
その他の経費	3,893,630
前期繰越不足金繰入	196,370
合計	13,675,000

### 委託会計電気自動車利用

システム研究

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

収入の部 (単位:円)

費目	金額
委託費	22,863,000

支出の部	
費目	金額
労務費	4,716,000
その他の経費	18,147,000
合計	22,863,000

監事の名簿にもとづき評議員会の結果を報告し、これに対し議長より賛否を求め異議なく承認された。

第7号議案: 昭和51～52年度会長、副会長、支部長選任に関する件

本案、中川会長より配布された名簿のとおり会長、副会長、支部長を選任したい旨提案があり、これに対し議長より賛否を求め異議なく承認された。

第8号議案: 名誉会員推せん件

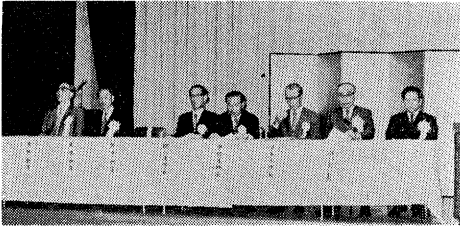
本案、豊田章一郎新会長よりつぎの3氏を名誉会員に推せんしたい旨提案があり、これに対し議長より賛否を求め異議なく承認された。

中川良一氏、野寺哲二郎氏、鍋谷政利氏

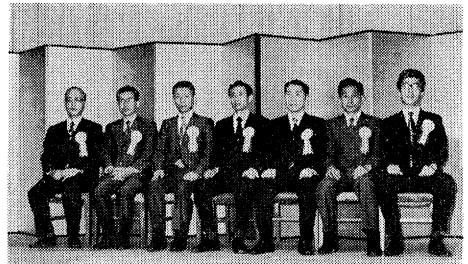
### 第26回自動車技術会賞授賞式

昭和51年5月25日(火)16:30～17:00  
東条会館ホール

授賞式は中川会長のあいさつに引続き近藤政市技術会賞審査委員長の審査経過報告が行われたのち学術賞・技術賞が授



◀ 図3 第30回通常総会。  
右から豊田章一郎会長、  
大東副会長、荒川・神  
田・橋本の各支部長、  
野寺、鍋谷名誉会員。



▶ 図6  
第26回自動車技術会賞受  
賞者。右から川勝、佐藤、  
由本、星野(以上技術賞)、  
木下、中村、根本(學術  
賞)の諸君



図4 あいさつをされる  
豊田章一郎会長



図5 豊田新会長より中川名誉会  
員へ名誉会員章をおくる

与された。

＜學術賞＞

(1) 直列4気筒エンジンにおける2次  
バランスについて

(受賞者)

中村裕一

(昭和23年京都大学工学部機械工学科  
卒。三菱自動車工業・乗用車技術セン  
ターエンジン研究部長)

木下光孝

(昭和26年東京大学工学部機械工学科  
卒。三菱自動車工業・エンジン技術部  
長)

根本四郎

(昭和31年東北大学工学部電気工学科  
卒。三菱自動車工業・エンジン技術部  
エンジン実験課主務)

(授賞の理由)

小型乗用車用エンジンに広く使われて  
いる4シリンダエンジンの欠点である振  
動を独特の構造の2次バランス装置をエ  
ンジン内部に組み込むことにより大幅に減  
少させることに成功した。

この上下および回転2方向の振動を同

時に減少させたのは、  
世界初の考案であり2  
次バランス装置を乗用  
車用に適用し、工業化  
させたこととあわせて  
世界にその例をみない。  
《技術賞》

(2) 電気自動車の開  
発とその実用化  
(受賞者)

由本一郎

(昭和26年京都大学卒。ダイハツ工業  
技術企画室主査)

星野千里

(昭和34年新潟大学卒。ダイハツ工業  
技術企画室主担当員)

佐藤信次

(昭和25年都島工専卒。ダイハツ工業  
技術企画室電気自動車技術課長)

川勝史郎

(昭和39年大阪府立大卒。ダイハツ工  
業・技術企画室)

(授賞の理由)

多年にわたり電気自動車の開発を推進  
し、多くの新技術開発とその車両適応性  
の評価を系統的に行い、独自の開発技術  
を利用して信頼性の高い電気自動車を開  
発し、市場での実用成果を技術改良に応  
用して、電気自動車の実用化を促進した。

また、内外に対して技術情報の紹介、  
製品による市場の開拓などを行って電気  
自動車の普及に貢献した。

▶特別講演会

昭和51年5月25日(火)13:00~14:50  
東条会館ホールにおいて開催

講師：岡野行秀氏(東京大学経済学部)  
テーマ：自動車交通輸送と経済学

## 低エミッション火花点火機関における燃焼研究 に関するシンポジウム

—自動車技術会・自動車エンジン研究委員会—

日 時：昭和51年9月28日(火) 9:00~17:00

会 場：食糧会館・大会議室(東京・麴町)

テーマ：混合気中の乱れによる火炎伝播の促進効果(飯沼東大教授)、火花点火機  
関における火炎の挙動(浜本京大助教授)、EGRの研究(野平氏・トヨタ  
自工)など6テーマを計画。

申込み：参加ご希望の方ならびにお問合せは事務局技術課あて(03-447-1681)願  
います。

自動車技術会 編集

自動車技術

昭和51年7月25日 印刷

昭和51年8月1日 発行

Vol. 30, No. 8, 1976.

定価 1,100円(〒37円)

発行所 社団法人自動車技術会  
東京都港区高輪1丁目16番15号  
(郵便番号) 電話 東京(03)447-1681(代)  
108 振替口座 東京196,725番

編集発行人 北村正雄  
印刷所 明善印刷株式会社